

日本選挙学会  
2005年度第4回理事会

2006.3.11 (土)

於) 東京大学本郷キャンパス法文二号館3F他分野交流室

出席者：池田理事長、小林・谷・川人・桑原・田中・河野・河崎・岩渕・玉井・平野・和田・梅川・岩崎・川戸・山田理事、安野事務局長・今井・小林・堤幹事

1 各委員会の活動状況について

①企画委員会

河野委員長より、2006年度研究会の概要について、資料に基づき説明がなされた。併せて河野委員長から、韓国選挙学会に対して、交流規程に基づき、報告者派遣を依頼したが、3月の理事会の時点で返答がなく、報告者が確定してないとの報告があった。その対応について議論がなされたが、4月5日まで韓国選挙学会からの返答を待ち、返答がない場合はポスターセッションに応募している慶会員に口頭報告を依頼することとなった。

その後、レジュメ集について、二つの25周年記念シンポジウムの箇所には、企画の趣旨（各企画を担当した企画委員が作成）を掲載する予定であることが報告された。また、ポスターセッションで報告予定で、現在、入会を申し込んでいるの方を、4月1日入会と扱うことが提案され、了承された。

②年報編集委員会

岩渕委員長（21号担当）より、年報21号が刊行されたこと、年報21号の表紙に、前号に掲載された論文のタイトルが誤記されていたことが報告された。その対応について、池田理事長・安野事務局長とも相談の上、ハガキでお詫びをする、今後配布するものについてはシールを貼る、ホームページ上でお詫びと訂正を行うこととしたとの説明があった。また、この件は年報21号に論文が掲載された会員の指摘により明らかになったが、誤記への対応については、当該会員からも了解を得ているとのことであった。その後、小林、平野両理事から、誤記された（前号に掲載の）論文の執筆者へも報告し、承諾を得ることの必要性が指摘され、そのような対応をとることとなった。また、紀要6号については、査読後の修正論文8件（投稿も8件）が提出されていること、再査読を行い、3月末掲載可否を決定する予定であるとの報告があった。

続いて平野委員長（22号担当）より、年報22号について、投稿申し込み期限の2月10日までに3件の投稿があったこと、5月13日が論文提出の期限であることが報告された。投稿論文が少ないことから、特集での依頼論文や研究会での報告論文を掲載する予定とのことであった。また、紀要7号について、現時点では投稿はないこと（5月13日〆切）が報告された。

平野委員長から、競合誌も増えている中で投稿を増やすための方策を検討する必要があるとの問題提起があった。これに対し、研究会の報告論文を掲載したり、2006年度大会で開催される25周年記念シンポジウムの内容を要約して掲載したりすることが提案され、

今後、実現に向けて年報編集委員会で検討していくこととなった。

### ③文献委員会

山田委員長より、会員の業績報告に基づいて作成した業績リストがほぼ完成したこと、紀要6号に掲載予定であるとの報告があった。

### ④選挙管理委員会

安野事務局長より、特に報告事項はないとの連絡を大山委員長（欠席）から受けているとの報告があった。

## 2 2006-2007年度理事・監事候補について

池田理事長より、12月理事会後、公選理事候補によって推薦理事・監事候補を選出したこと、監事をお願いしていた大山礼子会員が辞退されたため、この後の新理事長選出会議で新たな候補を選定する予定であることが報告された。

## 3 2006年度総会・研究会の開催について

大会運営委員長の河崎理事より、5月20日、21日に開催することが、正式に決定されたとの報告があった。また、研究会を行う教室の機材や日曜日の昼食の状況、懇親会の会場・内容、大会開催校のホームページ等について説明があった。

## 4 選挙学会紀要の審査手続きについて

平野委員長より、紀要の審査手続きを改めることが提案がされた。すなわち、現在、ある号に投稿された論文の掲載が、審査の過程で当該号に間に合わなかった場合、当該号を担当する委員会と次号を担当する委員会が異なると、審査終了・再投稿となっているが、これを、審査の途中で委員会が交替しても、査読者などの査読プロセスは引き継ぐことにするというものである。

これを受けて池田理事長から、年報編集委員会の負荷を減らすために、年報と紀要のそれぞれに編集委員会を設置し、審査を独立させることが提案された。また、小林理事からは、編集委員会とは独立した査読委員会を設けている政治学会の査読体制について紹介があった。その後、審査体制についての議論が行われたが、次回理事会で引き続き検討することとなった。

## 5 入会申込者・大会希望者の承認について

以下の方の入会・大会が承認された。

入会 水谷真理・伊藤俊秀・稲増一憲

退会 古田重明・蓮池 穰

なお、ポスターセッションで報告予定の入会希望者については、後日周知し、持ち回り理事会で承認することとなった。

## 6 その他

①会費の納入状況について

後日、報告。

②その他

(2008年度大会開催予定校所属の)岩淵理事より発言があり、2006年度総会で2008年度大会の開催校を決定するに当たり、学内手続きの関係上、日程までは確定できないとのことであった。

次回 5月20日(土)上智大学